児童生徒の国際交流は

教育長 民間主導を期待

◆林　輝見　議員

問 過去の実績時期と年数及び廃止の経過は。

答 中国南昌市と平成元年から16年間、アメリカのケント市と平成5年から8年間、北海道白老町と平成8年から6年間。中止の詳細は記録なし。

問 近隣市町の交流状況は。

答 大垣市は韓国とサッカー交流、東京都荒川区と俳句相撲、鹿児島市といずれも相互交流。海津市は鹿児島県霧島市・山形県酒田市と相互交流。垂井町はカナダカルガリー市へ派遣。輪之内町はカナダヒントン市と相互交流。

問 見識を深めグローバルな人間形成の見解は。

答 語学力・判断力や主体性・協調性の指導を強化する。

問 交流事業の推進計画は。

答 ドイツとの交流も養老町国際化推進会議で方向性を出したい。地域間・国際交流は基本施策として進めなければならない。可能ならば民間主導による事業に期待する。

薩摩義士顕彰の伝承は

教育長 ※養老テキストを活用

問 児童・生徒に伝承する現状は。

答 池辺小学校では薩摩義士に関する資料を展示し、薩摩義士踊りを運動会で発表している。慰霊祭や法要にも参加。鹿児島市へ中学生4名を派遣して交流も実施。ふるさと養老テキストで偉業を伝承。

問 鹿児島からの史跡訪問への対応は。

平成28年実施　鹿児島市立甲東中学校にて交流

答 平成26年に交流している鹿児島市立甲東中学校生徒らの13名を迎え、史跡を案内した。毎年7月下旬に日置市の小・中学生が来訪し、史跡巡りの際、天照寺で出迎えをしている。

問 薩摩義士ゆかりの鹿児島県市町との交流は。

答 現在、市町との相互交流はないが、鹿児島市教育委員会の協力を得て、高田中・東部中の代表が鹿児島市立甲東中学校で実施の交流会を継承していきたい。

※養老テキストとは、義務教育9か年の中で、養老町民として「これだけは知っておきたい」という内容をまとめた養老町のテキスト。町内全ての小中学校に配付し、使用している。

1300年祭「地域の日」は

町長 各地域と委託契約し進める

◆早崎百合子　議員

養老改元1300年祭本祭記念事業であり、町のイベントに加え町内11地区において、本祭の趣旨にのっとり主体的かつ自立的に事業を企画・運営し、地域の魅力を広く発信する事業である。

問 「地域の日」を実施するに至った経緯は。

答 本祭事業企画を実施する養老改元1300年祭実行委員会等で検討。

問 進捗状況は。

答 事業計画案は各地域から提案されているが具体的な計画は未定であり、4月に入り各地域と委託契約し進める。

問 企画運営業務委託額は。

答 均等割り、世帯数割りの支出予定。

問 委託契約により確定した行事内容の全町への情報発信提供は。

答 広報ようろう及び町ホームページ等に記載し、周知する。

認知症予防の新規事業は

町長 タッチパネル式コンピュータを導入

認知症を予防できるまちづくり、また、住み慣れた地域で支えられるまちづくりを目指して。

問 タッチパネル式コンピュータ（物忘れスクリーニング検査）導入時期は。

答 有効性を確認したので6月初旬を目途に導入。

問 一般住民への周知方法は。

答 広報ようろうに事業内容を記載し、年内に町内全ての地区で「巡回型認知症講座」の講演会を開催する。

タッチパネル式コンピュータイメージ

問 物忘れ相談プログラムの検査結果は。

答 一次、二次検査を行い、認知症サポート医による面談を実施。専門医療機関への紹介。※MCIの人には介護予防教室の参加を促す。

問 総合的な施策をどのように展開していくのか。

答 関係者間で、意見交換や情報を共有し、国の※オレンジプランに沿って施策を推進する。

※MCIとは、健常者と認知症の中間に当たる段階の、軽度認知障害を指す。

※オレンジプランとは、国が認知症対策として総合的に取り組む国家戦略の通称。2013年から進めてきた「認知症対策推進5か年計画（オレンジプラン）」と、それにかわるものとして策定し、2015年度から実施される「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」とがある。